

迎春 群馬県中小企業団体中央会新年会 賀正



2020年の新春講演会・新年会を、1月23日（木）、前橋商工会議所会館において開催しました。群馬県、地元選出国會議員、県議会、行政機関、金融機関、友好団体等多数の来賓を含む、総勢150余名が出席し、新たな年の訪れを祝いました。

新年会では、はじめに主催者を代表して本会吉田勝彦会長が新年の挨拶を行った。

会長挨拶

現在、中小企業庁では「価値創造企業に関する賢人会議」を立ち上げ、中小企業政策の見直しを行っている。主な検討課題は、①大企業と中小企業が共に利益を得るための取引の適正化、②革新的な技術や商品開発の推進、③系列にとられないサプライチェーンの複層化である。この改革が実現すれば、中小企業も発展の可能性



吉田会長

が大きくなり、事業承継にも弾みがつくと思われる。

中央会としても、中小企業組合の支援を通じて、働き方改革や事業承継といった中小企業が抱える問題の解決に向けた取組みを進めるとともに、「ものづくり補助金」「中小企業強靱化法」など国、県の施策も活用しながら、中小企業による革新的な技術の開発促進、災害対応力の強化を図っていく。

続いて、群馬県副知事・宇留賀敬一氏、群馬県議会議長・狩野浩志氏、日本銀行前橋支店長・岡山和裕氏、参議院議員・清水真人氏がそれぞれ祝辞を述べた。

来賓祝辞

群馬県副知事

宇留賀 敬一 氏

目下、山本知事とともに、来年度の予算編成を進めているが、そ

宇留賀敬一
群馬県副知事

狩野浩志氏

多くの中小企業を取り巻く経営環境は、慢性的な人手不足、事業承継の問題など、課題が山積している。群馬県議会としても、中小企業の発展なくして群馬県の発展はあり得ないという認識のもと、今後とも関係の皆様方としっかりと連携を進めながら、県議会として最大限の支援を行っていく。

日本銀行前橋支店長
岡山和裕氏

さらに、講演会ではグローバルな視点の大切さについてもお話があったが、群馬県は製造業が盛んなこともあり、積極的に海外にビジネスチャンスを求めてトライアンドエラーを経験している企業が多い点も強みだと感じている。もちろん、事業承継や生産性の向上など、直面している課題も多いが、群馬県の企業は大変前向きに頑張っている。日本銀行としてもできる限り情報収集を行い、そうし

参議院議員

清水真人氏

先ほど、「変えるべきものは変え、変えないものは変えない」というお話があつたが、まさに政治もそのとおりだと思う。そのため

には地域の皆様の声をよく聴くことが大事なことでと考えている。本国会では、事業承継の新法案を審議することになっている。こうした一つひとつの法案に対して皆様からのご意見をしっかりと受け止め、国会の場で反映させていくことが我々の役目である。今後皆様様の声を我々地元選出国会議員に届けていただくことを切に願いますとともに、我々としても、しっかりと皆様様の懐に入り、皆様に寄り添った形での政治が実現できるよう、活動をしていきたい。

来賓挨拶の後、鏡開きを行い、群馬銀行代表取締役頭取・深井彰彦氏が乾杯の発声を行った。終始和やかな雰囲気の中で懇親を深め、本会櫻井弘副会長の中締めにより閉会となった。



群馬銀行深井頭取による乾杯の発声

※新春講演会の概要は、来月号でご紹介いたします。